

① 研究課題名：

多施設による遡及的調査：『子宮頸部小細胞癌の治療法とその予後に関する実態調査』

② 研究の目的：

子宮頸部小細胞癌はその発生頻度が少なく、子宮頸癌の方のわずか1～3%と言われ、非常にまれな癌です。小細胞癌の治療は、その発生数が少ないためガイドラインなどの確立した標準的な治療法は定まっていません。今回多施設による調査を行うことで、治療法の実態やその治療成績の現状を把握し、標準的治療法の確立に向けた基礎資料とすることを目的としています。

③ 研究期間：西暦 2019年 1月 ～ 2021年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋大学大学院医学研究科 高次医療科学講座

放射線治療学分野 特任教授 伊藤善之

研究実施施設：名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立西部医療センターはじめ、東海放射線腫瘍研究会に属する施設（約 30 施設）

⑤ 研究の対象：

2003年1月1日から2016年12月31日までの期間で、当院*で子宮頸癌と診断され、かつ組織学的に子宮頸部小細胞癌と診断された方

*：当院は、2011年5月に名古屋市立城北病院及び名古屋市立城西病院が統合し、開設しています。そのため、2011年5月1日から2016年12月31日までの間に子宮頸部小細胞癌と診断された方が対象となります。

⑥ 調査項目：

- ・患者情報：診断時の年齢、全身状態、血液検査所見（LDH、ALP、ナトリウム）、腫瘍マーカー（SCC、CA125、CEA、NSE、proGRP）、喫煙の有無
- ・腫瘍情報：病期分類、組織型、腫瘍径
- ・治療情報：初回治療（初回治療開始日、術前化学療法の有無、手術・放射線療法・化学療法の内容）、初回治療の効果判定、術後療法、有害事象
- ・予後情報：局所再発、遠隔転移、転帰など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、研究代表者に郵送により提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

学会や論文で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は、健康文化振興財団からの寄付金の資金提供を受けて行われます。本研究に関連し、研究者に開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線治療科	馬場 二三八 TEL：052-991-8121（代表）